

令和元年度

神奈川の社会教育委員活動
(県社教連会誌)

神奈川県社会教育委員連絡協議会

は じ め に

神奈川県社会教育委員連絡協議会会長

鈴木 眞 理

神奈川県内の社会教育委員ならびに関係者の皆様には、日頃から生涯学習支援・社会教育の振興についてご尽力いただいていることに敬意を表し、県社会教育委員連絡協議会の活動にご協力・ご支援をいただき深く感謝いたします。

大学の課程や社会教育主事講習での社会教育主事の養成科目に変更が加えられ、令和2年4月から新たな構成での養成が始まっています。要点は、社会教育計画という科目が、社会教育経営と生涯学習支援という科目に変わったというところにあります。ただ、私見ですが、これには大きな意味があるのだと思います。社会教育法に規定されている、社会教育委員の任務は、地域の社会教育の計画を立案することです。それは、社会教育委員だけでできるわけではないので、社会教育主事の力を借りることが必要です。しかし、社会教育主事が、社会教育計画ということをキチンと理解しないでしたらどうなるでしょう。私のいう大きな意味というのは、残念ながらマイナスの意味です。社会教育主事の養成科目が変わるのなら、社会教育委員がこれまで以上に研鑽を積むしかないでしょう。

令和元年度は、総会時の講演、研修会、ならびに地区研究会を小田原市・厚木市で開催しました。関係された社会教育委員、行政職員、関係者の皆様には深くお礼申し上げます。また、幹事会、理事会では平成30年度社教連事業報告、会計報告、令和元年度社教連事業計画・予算案、全国社会教育委員連合の組織の在り方などについて意見交換がなされました。その他に、調査研究・事業検討委員会でも多様な検討がなされています。

この『神奈川県の社会教育委員活動』には、総会・研修会・地区研究会の関連資料、市町村の社会教育委員活動、社会教育委員の調査データなどを収録しており、いつもの通り、役に立つ冊子になっていると思います。バックナンバーを見ていただければ、この間の動きが詳細に理解できます。これは、関係された委員、事務局の方々の工夫・努力によるものです。全国的にも県レベルでこのようなまとめを行っているのは希ですが、この情報が関係者及び関係機関等で広く活用されれば幸いです。また、平成28年に作成した『社会教育委員活動のためのハンドブック』も改訂版が作られ、web上で公開されています。

先述したとおり、社会教育委員の研鑽は、ますますきわめて重要になります。神奈川県社会教育委員連絡協議会の活動に期待されることは、これまでに増して大きなものになると思われま

目 次

はじめに	神奈川県社会教育委員連絡協議会会長 鈴木 眞理	
I	令和元年度神奈川県社会教育委員連絡協議会活動報告	1
II	総会・研修会の記録	
	1 総会概要	6
	2 講演	7
	演題 「地域における社会教育委員のめざすもの ～人づくり・つながりづくり・地域づくりの視点から～」	
	講師 文部科学省総合教育政策局 地域学習推進課 課長補佐 下田 力 氏	
	3 研修会概要	20
	4 講演	21
	演題 「地域に貢献する社会教育」	
	講師 日本大学文理学部教育学科教授 佐藤 晴雄 氏	
III	地区研究会報告	
	小田原市	32
	厚木市	38
IV	市町村から	44
	横浜市教育委員会事務局生涯学習文化財課	
	相模原市社会教育委員会議議長 古矢 鉄矢	
	清川村社会教育委員会議議長 花輪 昇	
	秦野市社会教育委員会議議長 逢坂 伸一	
	大磯町社会教育委員 議長 櫻田 憲一	
	湯河原町社会教育委員会議議長 菊池 芳史	
V	全国研究大会に参加して	
	第61回全国社会教育研究大会兵庫大会に参加して	
	愛川町社会教育委員会議 議長 萩原 庸元	51
	第50回関東甲信越静社会教育研究大会長野大会に参加して	
	藤沢市社会教育委員会議 議長 川野 佐一郎	53
VI	統計に見る神奈川の社会教育	
	1 社会教育委員について	55
	2 社会教育委員の活動について	63
	3 社会教育委員の研修について	69
	4 社会教育委員の報酬・旅費及び活動費について	72
VII	令和元年度神奈川県社会教育委員連絡協議会役員・顧問・理事・幹事・監事名簿	74
	神奈川県社会教育委員連絡協議会会則・組織図・会誌編集委員	77